

2019年度
事業報告書
収支決算書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

2019年度事業報告書

I. 総括

2016年8月、日本財団 TOKYO 展 2020(任意団体)として設立した当団体は、2016年10月3日、一般財団法人に移行した。2017年4月、これまで以上に全ての人が共に生活できる社会の実現をより一層加速させるため、新たに舞台芸術公演の開催を事業内容に加えることにし、団体名称を「一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」に変更した。

設立から四年目にあたる2019年度は、以下の事業を実施した。

- (1) 2020年度の企画展に向けて2019年7月に「LOVE LOVE LOVE LOVE 展 プレイベント」を東京ミッドタウン・ホールAで開催した。プレイベントの開催実績を踏まえ、計画をゼロベースで見直すことになり、2019年9月以降、新規体制を構築し、新たな実施内容に向けて準備を行った。
- (2) 「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」の事業内容を広く周知するため情報発信に努めた。
- (3) 公募事業では、2018年度に公募した作品による展覧会「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 2018」を開催し、また2019年度事業として「第2回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」を実施し、障害のある人にアート活動の機会を提供するとともに、広く社会に発信するために作品募集から展覧会の実施準備を行った。
- (4) 多様性をテーマにした舞台芸術のプログラムを計4本実施した。日本財団との連携・共催のもと、「True Colors Festival -超ダイバーシティ芸術祭-」と銘打ち、2020年夏に向けた一連の取り組みを行った。

II. 実施事業の概要

A. 障害者等によるアート作品の展覧会の企画制作

障害者と芸術文化への認知拡大や多様性の意義と価値を広く伝えることを主な目的に、2020年7月、東京オリンピック・パラリンピックの開催時期にあわせて、お台場の船の科学館を会場に2か月間の開催に向けて準備を行った。障害福祉やアートに接点の少ない一般層を主なターゲットとし、10万人（開催期間中の合計）の来場者を目標とした。

a. 2019年度プレ発表イベントの制作・開催

2020年度に開催予定の「LOVE LOVE LOVE LOVE 展」のプレイベントとして実施した。

障害者や現代美術家 16 組の作品を展示する他、出展作家 5 人による公開制作や計 8 回のトークイベントの実施したほか、ワークショップ等の参加型のコンテンツを充実させた。

名 称 「LOVE LOVE LOVE LOVE 展 プレイイベント」
期 間 2019 年 7 月 14 日(日)、15 日(月)・(祝)、16 日(火)
時 間 10:00～19:00 会期中無休
会 場 東京ミッドタウン・ホールA
所 在 地 東京都港区赤坂 9-7-2 ミッドタウンイースト B1F
主 催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS
監 修 小澤慶介 (一般社団法人アートト)
出展作家 16 組
出展作品 73 点
参加者数 1,287 名 (期間中延べ人数)

<関連行事>

(1) 公開制作

出展作家のうち 3 つのアトリエから 5 名の作家が参加し会場で作品を制作した。

工房集 7 月 16 日(火) 13:00～14:30
やまなみ工房 7 月 14 日(日)、15 日(月)・(祝) 10:00～16:00
るんびにこい美術館 7 月 15 日(月)・(祝) 10:00～15:00

(2) ワークショップ『出張キッズドームソライ』

さまざまな素材や道具を使ってものづくりが体験できるワークショップ。

日 時 7 月 14 日(日)、15 日(月)・(祝)、16 日(火)
※各日 10:00～18:30 (最終日は 16:30 まで)

参加費 無料

(3) スペシャルワークショップ

アーティストを特別ゲストに迎えたスペシャルワークショップ。

参加費 無料

定 員 各回 10 名

A) 『航海図を描こう!』

日 時 7 月 14 日(日) 第 1 部 11:00～12:00 / 第 2 部 14:30～15:30

ゲ ス ト 占部史人 (アーティスト)

B) 『工夫して着る服「くふうく」』

日 時 7 月 15 日(月)・(祝) 14:30～16:00

ゲ ス ト 西尾美也 (アーティスト/出展作家)

(4) トークイベント

作家やクリエイターなど幅広い分野からゲストを迎えたトークイベント。

参加費 無料

定 員 各回 100 名

- A) 『愛、語っちゃおうぜ!』
日 時 7月14日(日) 10:30~11:30
登壇者 エリーローズ、
やっいいちろう (エレキコミック)
- B) 『つくる場をつくる』
日 時 7月14日(日) 13:00~14:30
登壇者 マシュー・ビード・マーフィー (LAND Gallery キュレーター)、
山下完和 (やまなみ工房施設長)、
小澤慶介 (本展キュレーター)
- C) 『ユニバーサルデザインをみんなで考えよう!』
日 時 7月14日(日) 15:30~16:30
登壇者 廣村正彰 (グラフィックデザイナー)、
岡本 健 (グラフィックデザイナー/本展グラフィック)、
貝島桃代 (建築家/本展会場構成)
- D) 『あなたと展覧会をつなぐ橋。アクセス・アート・プログラム』
日 時 7月15日(月)・祝 10:30~12:30
登壇者 梅田亜由美 (本展エドゥケーター)、
柴崎由美子 (本展アクセス・アート・プログラム統括)、
平澤 咲 (本展ボランティアコーディネーター)、
小澤慶介 (本展キュレーター)、
今野優紀 (日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS プログラムディレクター)
- E) 『愛についての2、3の断章』
日 時 7月15日(月)・祝 13:00~14:30
登壇者 小野正嗣 (作家・早稲田大学教授)、
西 加奈子 (作家)、
小澤慶介 (本展キュレーター)
- F) 『ともに、つくること』
日 時 7月15日(月)・祝 16:30~18:00
登壇者 瀬尾夏美 (アーティスト)、
砂連尾 理 (ダンサー・振付家/出展作家)、
小澤慶介 (本展キュレーター)
- G) 『アクセス・アート・プログラムのミライ!ここ東京から考える。』
日 時 7月16日(火) 10:30~12:30
企画協力 六本木アートナイト
登壇者 熊谷 薫 (六本木アートナイト実行委員会事務局)、
梅田亜由美 (本展エドゥケーター)、
柴崎由美子 (本展アクセス・アート・プログラム統括)
- H) 『「目から入る情報」のアクセシビリティを考えよう!』
日 時 7月16日(火) 13:30~14:30

登壇者 伊敷政英 (Cocktailz 代表)、
島影圭佑 (株式会社オトングラス代表取締役)、
萩原俊矢 (ウェブディレクター/本展ウェブサイト)

b. 2020 年度展覧会の企画・制作及び事前準備

2019 年 8 月、プレイベントの開催実績を踏まえ、開催計画や実施体制の刷新が必要となった。9 月、検討の結果、株式会社博報堂に企画制作・運営・PR・実行業務一式を業務委託すること、同時に開催期間中に船の科学館をライトアップすることを計画、その業務を株式会社石井幹子デザイン事務所に委託することを決定し、各社と打合せを実施してきた。しかし、2020 年 1 月に発生した新型コロナウイルスの世界的規模の蔓延により、2020 年のオリンピック、パラリンピックが 2021 年に延期となったため、展覧会事業も中止することになり、各社との契約も中止した。

B. 情報発信

ホームページや各種媒体を通じて、各種事業の情報発信に務めた。

a. Web メディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」

「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」のメインサイトとして、取材・企画制作記事掲載を中心に、本事業関係イベントや情報を伝えるページを随時公開した。

今年度は取材記事 36 本を制作し、29 本を公開した。また関係イベントなどのニュース記事 55 本を作成・公開した。

年間総訪問者数は 123,353 人、ページビュー数 240,197PV (昨年度比+74,021PV) を獲得した。記事の英語翻訳と公開を進め、日本国外からのアクセス数が増加した。

サイトの UI (ユーザー・インターフェイス) 改善を施し、ユーザーにとってより見やすくするとともに、事業の広報を含めてより発信しやすい環境を整えた。

b. ソーシャルメディアとの連携

Facebook、Instagram と Web メディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」を連動させ、情報の拡散に努めた。2020 年 3 月末時点で、Facebook の「いいね」が 1,805 件、フォロワー数 2,092 人、Instagram のフォロワー数も 1,970 人に達し、堅実に数を伸ばしている。

c. 「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」の発行

Web メディアで掲載した記事を再構成し、「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」(タブロイド版、フリーペーパー)として、06 号と 07 号を発行した。発行部数は各号 15,000 部で、文化施設、福祉施設、学校、書店、カフェ等で配架した。全国での配架数と拠点は引き続き増加している。また、個人の購読希望者には送料を負担していただき送

付している。さらに今年度は、在庫僅少だったバックナンバーを再印刷して財団主催イベントでの配布と周知に努めた。

d. **メールマガジンの配信**

約 2,200 件のメールマガジン登録アドレス宛に、ほぼ月 1 回のペースで計 11 回のメールマガジンを配信した。

C. **「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」の実施**

a. **「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 2018」**

2018 年度中に公募し、入選した作品を展示した展覧会を東京及び横浜で開催した。

(1) **展覧会の開催**

名 称 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 2018

主 催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

共 催 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団（横浜会場）

協 力 国際障害者交流センター ビッグ・アイ
Bunkamura（東京会場）

展覧会アートディレクター 中津川浩章 美術家／アートディレクター

会 場 <東京会場>

会期 2019 年 5 月 15 日(水)～5 月 26 日(日)

時間 10:00～19:30

会場 Bunkamura Gallery/Wall Gallery

<横浜会場>

会期 2019 年 5 月 29 日(水)～6 月 4 日(火)

時間 10:00～18:00 (2 日(日)は 17:00 まで、最終日は 15:00 まで)

会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

内 容 <東京会場>

- ・受賞作品 (12 点)、入賞作品 (53 点)、国外佳作作品 (4 点)、別枠作品 (16 点) の展示

- ・「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」の開催

日時 2019 年 5 月 26 日(日)

A. 10:30～12:30 B. 15:00～17:00

講師 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

定員 各回 7 名程度

参加無料 要申込

<横浜会場>

- ・受賞作品 (12 点)、入賞作品 (53 点) の展示

(2) その他

- ・ 図録制作 (500 部)
- ・ 各種チラシ制作

b. 「第2回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」

障害のある人にアート活動の機会を提供し、有能なアーティストの発掘、支援を行い、社会に発信することを目的に、障害のある方を対象にアート作品の公募、審査及び展覧会を実施した。

(1) アート作品の公募

期 間 <国外募集> 2019年7月2日(火)~7月25日(木)

<国内募集> 2019年9月1日(日)~9月20日(金)

募集内容 国内外を問わず、障害のある方が制作したアート作品で過去に受賞歴のない作品。

応募点数 各作者につき3点以内

出品規格 絵画、イラスト、グラフィックデザイン、書、写真、造形など。
素材やテーマは自由。

平面作品 縦200cm×横120cm以内

立体作品 高さ200cm×幅150cm×奥行150cm 重量50kg以内

(2) 公募作品の審査・選考

審査員

秋元雄史 東京藝術大学大学美術館館長・教授/練馬区立美術館館長

上田バロン FR/LAME MONGER 代表/イラストレーター

エドワード M. ゴメズ RAW VISION 主任編集者

藏座江美 一般社団法人ヒューマンライツふくおか 理事

中津川浩章 美術家/アートディレクター

永野一晃 写真家

望月虚舟 書家

審査方法

<国外募集> 8月上旬に審査員による写真審査を実施。写真審査を通過したものは、国内応募作品とともに現物審査を行う。

<国内募集> すべて現物審査。審査員立会いのもと、応募された作品の中から、審査員賞/海外作品賞/入賞/佳作併せて126作品を選出

応募作品数 1,961作品 (国内応募1,641作品、国外応募320作品)

現物審査実施日 2019年10月14日(月)・(祝)

(3) 授賞式及び展覧会の開催

2019年度中に公募した入選作品の授賞式及び展覧会は、2020年4月、5月に開催予定であったが、いずれも新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止した。

- ・ 授賞式

- 開催日 2019年4月11日(土)
開催場所 Bunkamura Gallery
- ・ 展覧会（東京会場）
開催日 2020年4月12日(日)～22日(水)
開催場所 Bunkamura Gallery/Wall Gallery
＜東京会場関連イベント＞
「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」の開催
開催日 2020年4月19日(日)、20日(月)
- ・ 展覧会（横浜会場）
開催日 2020年4月25日(水)～5月1日(金)
開催場所 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

D. 多様性をテーマにした舞台芸術シリーズの開催

多様性をテーマにした舞台芸術のプログラムを計4本実施した。日本財団との連携・共催のもと、「True Colors Festival -超ダイバーシティ芸術祭-」と銘打ち、2020年夏に向けた一連の取り組みを行った。

a. True Colors DANCE -No Limits-

開催日 2019年9月10日(火)

場 所 渋谷ストリーム前 稲荷橋広場

出演者 ILL-Abilities (イルアビリティーズ) 他

来場者数 第1部 約400名、ワークショップ 約100名

第2部 約350名

合計850名

内 容

「True Colors Festival」の幕開けとなるダンスイベントを開催した。障害者ダンサーで構成される多国籍ブレイクダンス・ユニット ILL-Abilities を招聘し、国内からはブレイキンのスターチームや世界でもトップレベルのブレイキンダンサーなどが出演。会場には手話通訳者や字幕を流す大型ビジョン、車椅子利用者、子供連れなどのサポートの必要な方に向けたスペースを用意し、当日足を止めた多くの通行人ら多くが観劇した。またダンス公演の前後にはワークショップや少年院を訪問するアウトリーチなどの関連イベントを実施した。

関連イベント

① ILL-Abilities ダンス・ワークショップ

開催日 2019年9月8日(日)

場 所 YCC 代々木八幡コミュニティセンター (渋谷区)

参加人数 55名

② 東日本少年矯正医療・教育センター・交流プログラム

開催日 2019年9月11日(水)
場 所 東日本少年矯正医療・教育センター (東京・昭島市)
参加人数 50名

b. True Colors BEATS -Uncountable Beats Festival-

開催日 2019年10月22日(火)・(祝)
場 所 日本財団ビル
イベント・ディレクター
サンティアゴ・バスケス
ゲスト・アーティスト
ermhoi、xiangyu、岩崎なおみ、大友良英、角銅真実、勝井祐二、
コムアイ、高良久美子、芳垣安洋、フアナ・モリーナ、ミロ・モージャ
ゲスト・バンド
YAKUSHIMA TREASURE (水曜日のカンパネラ×オオルタイチ)、
Monaural mini plug
参加者数 来場者 300名
ワークショップ参加者 82名
YoutubeLIVE 視聴者 1,903名

内 容

アルゼンチンを代表する音楽家サンティアゴ・バスケスの指揮のもと、大友良英、コムアイ (水曜日のカンパネラ) らをゲストアーティストとして招聘し音楽ライブを実施した。イベント本番前の週末には、個性豊かな約100人により2日間のワークショップを展開。バスケスが考案した身振りを使った演奏指揮の方法「Rhythm with Signs」を用いて、障害、国籍、年齢など、さまざまな違いを超えたアンサンブルを組み上げた。

イベント当日は台風の接近に伴う大雨の影響により、イベント会場を急遽代々木公園から日本財団ビルへと変更した。当初予定していたマーケット及びワークショップの実施は一部を除いて中止となった一方で、会場のライブ配信を実施した。

c. True Colors JAZZ -異才 meets セカイ-

大阪公演

開催日 2020年1月4日(土)
場 所 ビルボードライブ大阪

東京公演

開催日 2020年1月6日(月)
場 所 ブルース・アレイ・ジャパン

熊本公演

開催日 2020年1月8日(水)

場 所 C I B
イベント・ディレクター
松永貴志
ゲスト・アーティスト
小澤綾子、紀平凱成、よよか
スペシャル・アーティスト
黒田卓也
アーティスト：

Derek K Short、ナカタニ タツヤ、Viorica Lozov、Juna Serita、
田中啓介

来場者数 大阪 450名 (2回公演)
東京 120名
熊本 110名 合計：680名

内 容

日本を代表するピアニストの一人である松永貴志がディレクターとなり、大阪・東京・熊本の3都市でジャズライブを開催した。出演者には、新進気鋭のピアニストであり、日本財団と東京大学が進める「異才発掘プロジェクト」ホーム・スカラーの紀平凱成をはじめ、10歳で世界のミュージシャンとの共演を重ねるドラマーのよよか、車椅子のシンガー小澤綾子を迎えた。

当初予定していた海外からの招聘アーティストの来日が叶わず、代替アーティストによる公演となったが、各会場ともに障害のある方、外国人、老人、子供、ジャズライブハウスに初めて訪れる方など幅広い層の方々に多数お越しいただくことができた。それぞれのメンバーの個性を生かし、音楽が持つ本来の魅力を改めて感じさせるステージとなった。

d. True Colors MUSICAL ファマリー「ホンク！～みにくいアヒルの子～」

開 催 日 2020年2月15日(土)～16日(日)
場 所 東京建物 Brillia HALL (豊島区立芸術文化劇場)
出 演 劇団 Phamaly、鹿子澤拳、東野寛子
来場者数 15日 581名
16日 517名 合計：1,098名

内 容

アメリカで30年前に障害者の有志によって設立され、現在まで、芸術活動を望む障害者の就労・自立支援を続けている劇団「Phamaly」と、日本から障害のあるアーティスト鹿子澤拳と東野寛子が参加し、「ホンク！～みにくいアヒルの子～」を上演した。様々な障害のある俳優たちが、それぞれの個性を生かした舞台は、多くのお客さんの好評を得た。また、上演のほかに、障害者や子供を対象にしたタッチツアーや作品解説を実施。タブレット字幕や音声ガイドなどのアクセシビリティも強化した。アフタートークでは、芸術監督・リーガンリントンや出演者

とともに、True Colors Festival のアンバサダーを務める RYUCHELL、乙武洋匡らも登壇し、舞台の制作秘話や多様性などについてそれぞれの体験談を披露した。

e. その他

2020 年 3 月 5 日～8 日にプログラムの第 5 弾として演劇作品「True Colors DIALOGUE」の上演をスパイラルホールにて予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、2020 年 2 月 19 日に公演実施を中止した。同年夏までに延期をする可能性を探ったが、最終的には中止の判断を行った。

その後、2020 年 3 月 23 日に、2020 年夏までに予定していた「True Colors Festival」のすべてのプログラムについても中止し、準備作業を行っていた 2020 年 4～6 月に開催予定のプログラムについても、準備作業を中止し、キャンセルに伴う事務作業などを行った。

III. 総務報告

1. 評議員・役員に関する事項

(1) 評議員

吉倉和宏 2018年5月22日就任 日本財団常務理事
菅井明則 2018年5月22日就任 笹川平和財団常務理事
中西由郎 2016年10月3日就任 元日本ゲートボール連合専務理事

(2) 理事

横尾紀彦(理事長) 2018年5月22日再任 につぼん文楽プロジェクト理事長
小澤 直 2018年5月22日再任 日本財団パラリンピックサポートセンター常務理事
菅原悟志 2018年5月22日就任 ブルーシー・アンド・グリーンラド財団理事長

(3) 監事

山田恵一郎 2018年5月22日就任 笹川平和財団部長

以上2020年3月31日現在

2. サテライト事務所の設置

True Colors Festival の運営に際し、これまで以上に業務委託会社との連携が必要と見込まれるため、2019年6月1日、業務委託先の株式会社ロフトワークとの間で賃貸借契約を締結し、同日、サテライト事務所を東京都渋谷区道玄坂 1-22-7 に設置した。

当初、2020年7月に開催する True Colors Festival まで事務所を設置する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、その後の事業を中止することになったため、2020年3月24日、(株)ロフトワークに賃貸借契約の中止を伝えた。

なお、サテライト事務所は、2020年4月中に退去の予定である。

3. 職員について

今後の事業展開に必要な人員を確保するため、2019年5月に2名を有期契約職員として、2019年7月に1名を人材派遣会社から、2019年11月1名を臨時職員として採用した。

また、2019年4月、すでに雇用している職員10名と契約の更新をした。

なお、2019年12月～2020年2月にかけて、4名の有期契約職員が退職した。

2019年度決算報告書

2020年3月期決算の前提条件

2019年4月～2020年3月

■事業費・管理費組替計算根拠（明細別紙）

・事業費の比率	97.4%
・管理費の比率	2.6%

■正味財産増減計算書内訳表

・受取助成金の配分		
事業費（事業会計）	97.5%
管理費（法人会計）	2.5%

以上

貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	661,350	432,775	228,575
普通預金(三菱-虎ノ門)	1,212,426	1,212,426	0
普通預金(三菱-本店)	768,339,119	107,170,288	661,168,831
普通預金(みずほ-神田)	240,956,576	105,233,926	135,722,650
普通預金(郵貯-神田錦町)	41	16	25
普通預金(住友-神田)	1,587,782	1,277,507	310,275
未収金	1,792,060	0	1,792,060
仮払金	0	147,709	-147,709
預け金	37,759	27,064	10,695
前払費用	1,232,965	1,007,772	225,193
立替金	0	0	0
流動資産合計	1,015,820,078	216,509,483	799,310,595
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産※	3,000,000	3,000,000	0
普通預金(郵貯-神田錦町)			
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) その他固定資産			
敷金	4,158,000	4,158,000	0
その他固定資産合計	4,158,000	4,158,000	0
固定資産合計	7,158,000	7,158,000	0
資産合計	1,022,978,078	223,667,483	799,310,595
II 負債の部			
(1) 流動負債			
未払金	129,530,506	10,455,531	119,074,975
預り金	669,328	689,409	-20,081
仮受金	879,711,162	191,406,817	688,304,345
流動負債合計	1,009,910,996	202,551,757	807,359,239
(2) 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,009,910,996	202,551,757	807,359,239
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(内基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
(内特定財産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	10,067,082	18,115,726	-8,048,644
正味財産合計	13,067,082	21,115,726	-8,048,644
負債及び正味財産合計	1,022,978,078	223,667,483	799,310,595

※基本財産については、これまで郵便貯金口座で管理、指定正味財産において基本財産に充当していたが、定款第5条、第6条に基づき、基本財産としてより明確化することとした。

貸借対照表内訳表

2020年3月31日現在

(単位：円)

科目	事業会計	法人会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	661,350	661,350
普通預金(三菱-虎ノ門)	0	1,212,426	1,212,426
普通預金(三菱-本店)	718,397,076	49,942,043	768,339,119
普通預金(みずほ-神田)	225,294,399	15,662,177	240,956,576
普通預金(郵貯-神田錦町)	0	41	41
普通預金(住友-神田)	1,587,782	0	1,587,782
未収金	0	1,792,060	1,792,060
仮払金	0	0	0
預け金	0	37,759	37,759
前払費用	0	1,232,965	1,232,965
立替金	0	0	0
流動資産合計	945,279,257	70,540,821	1,015,820,078
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産 普通預金(郵貯-神田錦町)		3,000,000	3,000,000
基本資産合計	0	3,000,000	3,000,000
(2) その他固定資産			
敷金	0	4,158,000	4,158,000
その他固定資産合計	0	4,158,000	4,158,000
固定資産合計	0	7,158,000	7,158,000
資産合計	945,279,257	77,698,821	1,022,978,078
II 負債の部			
(1) 流動負債			
未払金	128,370,973	1,159,533	129,530,506
預り金	39,480	629,848	669,328
仮受金	809,536,605	70,174,557	879,711,162
流動負債合計	937,947,058	71,963,938	1,009,910,996
(2) 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	937,947,058	71,963,938	1,009,910,996
III 正味資産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	3,000,000	3,000,000
(内基本財産への充当額)	0	3,000,000	3,000,000
(内特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	7,332,199	2,734,883	10,067,082
正味財産合計	7,332,199	5,734,883	13,067,082
負債及び正味財産合計	945,279,257	77,698,821	1,022,978,078

正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益	792,296,538	308,892,559	483,403,979
受取助成金	788,731,431	306,941,636	481,789,795
事業収益	3,565,107	1,950,923	1,614,184
② 雑収益	114,249	1,604,352	-1,490,103
受取利息	25	16	9
雑収益	114,224	1,604,336	-1,490,112
経常収益計	792,410,787	310,496,911	481,913,876
(2) 経常費用			
① 事業費			
業務委託費	655,768,061	168,959,226	486,808,835
諸謝金	1,728,629	1,851,896	-123,267
印刷製本費	3,834,994	5,794,880	-1,959,886
広報費	3,379,330	653,851	2,725,479
会議費	2,048,580	644,501	1,404,079
旅費交通費	17,355,121	19,320,723	-1,965,602
会場使用料	25,882,786	17,208,918	8,673,868
通信運搬費	9,031,089	6,340,625	2,690,464
消耗品費	80,695	125,423	-44,728
資料購入費	140,755	76,047	64,708
賃借料	1,838,230	1,942,610	-104,380
保険料	283,917	321,880	-37,963
諸会費	0	648	-648
研修費	541,570	0	541,570
手数料(事業)	126,500	0	126,500
支払手数料(事業)	648	0	648
為替差損	5,446	19,264	-13,818
雑損失	4,100	0	4,100
雑費	305,185	336,313	-31,128
給料手当	39,493,899	32,017,302	7,476,597
法定福利費	6,294,783	5,037,567	1,257,216
人材派遣費	2,829,784	0	2,829,784
事務消耗品費	1,907,234	3,841,871	-1,934,637
地代家賃	7,088,728	7,882,038	-793,310
・事業費計(1)	779,970,064	272,375,583	507,594,481
② 管理費			
役員報酬	1,800,000	1,800,000	0
給料手当	5,090,400	5,040,000	50,400
法定福利費	894,196	792,950	101,246
通勤費	2,187,160	1,967,335	219,825
福利厚生費	363,705	236,833	126,872
人材派遣費	0	0	0
印刷製本費	51,720	0	51,720
会議費	2,402	0	2,402
旅費交通費	145,776	159,365	-13,589
通信運搬費	1,251,546	1,293,160	-41,614
事務消耗品費	1,068,475	604,739	463,736
修繕費	190,140	1,022,834	-832,694
水道光熱費	398,234	539,429	-141,195
地代家賃	1,413,272	1,368,030	45,242
新聞図書費	18,496	5,756	12,740
保険料	0	38,500	-38,500
諸会費	109,989	77,366	32,623
リース料	2,869,710	2,300,076	569,634
租税公課	70,000	70,000	0
支払手数料	512,264	421,036	91,228
手数料	1,826,692	1,755,310	71,382
雑費	213,992	186,333	27,659
事務所移転費	0	2,335,190	-2,335,190
雑損失	11,198	672,900	-661,702
・管理費計(2)	20,489,367	22,687,142	-2,197,775
経常費用合計(1)+(2)	800,459,431	295,062,725	505,396,706
当期経常増減額	-8,048,644	15,434,186	-23,482,830
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	-8,048,644	15,434,186	-23,482,830
当期一般正味財産増減額	-8,048,644	15,434,186	-23,482,830
一般正味財産期首残高	18,115,726	2,681,540	15,434,186
一般正味財産期末残高	10,067,082	18,115,726	-8,048,644
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	13,067,082	21,115,726	-8,048,644

正味財産増減計算書内訳表
2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：円)

科目	事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①事業収益	772,517,068	19,779,470	792,296,538
受取助成金	768,951,961	19,779,470	788,731,431
事業収益	3,565,107		
②雑収益	114,224	25	114,249
受取利息	0	25	25
雑収益	114,224	0	114,224
経常収益計	772,631,292	19,779,495	792,410,787
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	39,493,899		
法定福利費	6,294,783		
人材派遣費	2,829,784		
事務消耗品費	1,907,234		
地代家賃	7,088,728		
業務委託費	655,768,061		
諸謝金	1,728,629		
印刷製本費	3,834,994		
広報費	3,379,330		
会議費	2,048,580		
旅費交通費	17,355,121		
会場使用料	25,882,786		
通信運搬費	9,031,089		
消耗品費	80,695		
資料購入費	140,755		
賃借料	1,838,230		
保険料	283,917		
諸会費	0		
研修費	541,570		
手数料(事業)	126,500		
支払手数料(事業)	648		
為替差損	5,446		
雑損失	4,100		
雑費	305,185		
・事業費計(1)	779,970,064	0	779,970,064
②管理費			
役員報酬		1,800,000	
給料手当		5,090,400	
法定福利費		894,196	
通勤費		2,187,160	
福利厚生費		363,705	
印刷製本費		51,720	
会議費		2,402	
旅費交通費		145,776	
通信運搬費		1,251,546	
事務消耗品費		1,068,475	
修繕費		190,140	
水道光熱費		398,234	
地代家賃		1,413,272	
新聞図書費		18,496	
保険料		0	
諸会費		109,989	
リース料		2,869,710	
租税公課		70,000	
支払手数料		512,264	
手数料		1,826,692	
雑費		213,992	
事務所移転費		0	
雑損失		11,198	
・管理費計(2)	0	20,489,367	20,489,367
経常費用合計(1)+(2)	779,970,064	20,489,367	800,459,431
評価損益等調整前当期経常増減額	-7,338,772	-709,872	-8,048,644
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-7,338,772	-709,872	-8,048,644
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	-7,338,772	-709,872	-8,048,644
当期一般正味財産増減額	-7,338,772	-709,872	-8,048,644
一般正味財産期首残高	14,670,971	3,444,755	18,115,726
一般正味財産期末残高	7,332,199	2,734,883	10,067,082
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000
III 正味財産期末残高	7,332,199	5,734,883	13,067,082

監事監査報告書

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

理事長 横尾紀彦 殿

本法人の2019年度事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の業務及び財産の状況について監査を行いました結果、何れも適法かつ正確であることを認めます。

また、会計監査人西尾公認会計士事務所の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

2020年 7月 3日

監事 山田 恵一郎 ⑩